

2023年
4月号 No.8

サルビア訪問リハビリ新聞

発行日：令和5年4月15日 発行者：医療法人社団英世会 介護老人保健施設サルビア
〒191-0024 東京都日野市万願寺1-18-1 TEL042-589-3270 FAX042-589-3271

クリーンセンター前の 桜並木

撮影日：2024.3.24

桜について

桜はバラ科サクラ亜科サクラ属の落葉広葉樹の総称です。主に北半球の温帯に広範囲に自生しています。変異しやすい特質から特に日本で花見目的に多くの栽培品種が作出されてきました。観賞用として最も多く植えられているのがソメイヨシノです。

日野市にも幾つか桜が咲いている場所がありますが、今回はクリーンセンター前の桜並木を写真に納めました。約五百メートル程度ある桜並木は圧巻でした。道路も袋小路になっており車通りも少なそうな印象です（時間によっては清掃車が多く走るかもしれません）。また途中にはいくつかベンチもありお弁当を楽しまれている方もいました。

リハビリり日誌（八十年代、男性）

令和二年に脳出血をされ、自宅に退院されました。約二年半の在宅生活を継続されています。退院当初からサルビアの訪問リハビリや通所リハビリを利用してあります。主に奥様が介護をされており、今回は奥様に今までの経過をインタビューさせて頂きました。

退院直後は車椅子を利用していましたが、約二カ月の間で外を歩けるようになる程改善しました。目まぐるしく生活は変化した時を振り返り、今思う事はありますか

退院直後はいったいどうなるのだろうと不安でした。訪問リハビリや通所リハビリの職員の方には本当にお世話になりました。また自宅に退院して、施設生活を送る上で必要な車椅子や睡眠薬を無くせたことで、劇的に状態が良くなりました。今それを考えると、早く退院させてあげれば良かったなと思いました。

その後状態は落ち着き、奥様との外出機会が増えました。熱心に関わられると、とても感じています。奥様はどのような想いで関わっていたのですか



自宅内に閉じこもるのではなく、普通の生活をしてほしい。普通の社会生活ができるようになってほしいとの想いで行っていました。今は昔のように戻る事は難しいとは感じてはいますが続けます。**奥様も徐々にご自身の時間を持つようになってきています。意識されている事はありますか**

いつも夫の事を考えてしまいます。考えすぎない為にも、考えないようにできる時間を作っています。実際には昼寝をし、夫の就寝後に猫を膝に乗せ、晩酌をしながら韓国時代劇を見ています（笑）**最後にもう一度今までの介護生活を振り返り、思う事はありますか**



本当に病気をした夫との生活を再構築するのは大変でした。でも約二年半介護を行ったことで、将来自分の人生を振り返った際に、きっと自分への慰めになるのでは、後悔しないですむのではと思っています。またどうしても今までは「なんでできないのか」といった否定的な言葉を掛けてしまう事もありました。今後は今の夫をそのまま受け入れ、感謝の言葉を多くしていきたいと思っています。

ご本人から奥様への想い

私から特別言う事はありませんが、いつも良くしてもらっていると思っています。嫌な感情はありません。今後もお互いに気持ちの良い関係で居たいと思っています。